

# 地球環境ガバナンス研究の最先端

日本国際政治学会編

序論 地球環境ガバナンス研究の最先端……………	阪 口 功
ドイツのエネルギーガバナンス (一九八三年—二〇二一年)……………	邊 理 絵 藤 悠 生
グローバルな気候変動ガバナンスの「共律化」……………	近 山 田 高 敬
パリ協定に貢献する鉱物資源及び 金融・投資分野のガバナンスの現状と課題……………	太 田 宏 佐 藤 勉
気候変動危機によって高まる電力安全保障の重要性……………	山 本 剛
農業・食料分野における地球環境保全規範の受容要因……………	米 田 立 子
プライベート標準と パブリック環境ガバナンスの共進化……………	渡 邊 智 明
ビッグサイエンスと地球環境保護……………	王 智 健
勢力範囲（勢力圏）概念と近代日本外交……………	佐々木 雄 一
日中国交正常化における中国の政策過程……………	愈 敏 浩
〈書評論文〉	
防衛政策史研究の最先端……………	吉 田 真 吾
敗戦国の経済的包摂／参加をめぐるディレンマ……………	前 田 亮 介
〈書 評〉	
アマタフ・アチャリヤ著 『ASEANと地域秩序』……………	湯 川 拓
クラウス・ドッズ著、町田敦夫訳 『新しい国境 新しい地政学』……………	岩 下 明 裕
渡部恒雄、西田一平太編 『防衛外交とは何か』……………	畠 山 京 子

## 国際政治

214